

■ 教育目標「学び合い 高め合い とともに伸びる子」



佐渡市立七浦小学校

学校だより

♪ 令和2年度より七浦小学校はコミュニティ・スクールとなりました♪

令和2年11月30日発行  
学校だよりNo. 9  
佐渡市立七浦小学校  
佐渡市稲鯨1312番地  
Tel: 0259-76-2322  
Fax: 0259-61-4955  
mail: nanaura-es@sado.ed.jp

## がんばれ！先生のためごさん！

校長 山口 明美

七浦小学校のブランコは、海を一望できる最高のロケーションの場所にあります。晴れた日は、子どもたちのブランコをこぐ音と楽しい語らいの声に、つい引きつけられて窓から覗いてしまいます。きっと、大人になっても忘れない心の原風景の一つになることまちがいないと思います。穏やかな海から冬の厳しい海へのバトンタッチの日が1日でも遅くなることを願うこの頃です。



11月9日（月）から2週間、岩崎さんの教育実習を受け入れました。岩崎さんは、七浦小の卒業生です。来春から小学校の教員として教育現場に立たれる予定です。実習を行うに当たっての本人の意気込みを聞くと、「私は人見知りであるため、児童と積極的にコミュニケーションをとることができるか不安です。しかし、実習をとおしてそのような弱点を克服し、自分から積極的に児童に関わることができるようになりたいです。」と言われました。そして、岩崎さんはみごとにこの弱点を克服しました。お別れ式で、「岩崎先生と遊んだりお話をしたりして楽しかった人」という私の問い掛けに、全校の児童が迷いもなくぱっと手を挙げました。また、岩崎さんが、一生懸命に授業に向き合い、子どもたちから学ぼうとする姿勢が実習期間の随所に感じることができました。

実習最後の日の公開授業では、岩崎さんが6年生の時の担任であられた藤井先生も参観されました。3年生の子どもたちが普段よりもさらに真剣に算数の授業に取り組んでいる姿が微笑ましかったです。「岩崎先生のために、岩崎先生が困らないようにがんばろう」という子どもたちの気持ちが、参観している私たちにも手に取るように伝わってきました。子どもたちとの信頼関係が築けているからこそその姿です。

新任教師としてスタートした時に教えられた言葉があります。「教師は素晴らしい仕事だ。人様の子どもを教えるという、神様にしか許されない行為を仕事とするのが教師である。心してやりなさい。」岩崎さんから、この言葉を思い起こさせてもらいました。そして、これからも教員人生の応援団として見守っていきたいと思います。がんばれ！先生のためごさん！